

建設キャリアアップシステム事業者 ID をお持ちの場合は  
その番号を転記してください。

記入例（旧証紙交換）310円→320円

共済証紙受払簿

一期首で必ず入力してください。

(様式第030号)

共済契約者名		けんたい建設株式会社			③決算日		4年3月31日		◎ この受払簿は、受入・払出の都度、掛金収納書などをみて日付を所定欄に記入し、決算毎に合計を出して整理して下さい。							
①共済契約成立年月日(年・月・日)		23年4月1日		前期(前項)からの繰り越し日数(「0」でも)を必ず入力してください。		決算期間		3年4月1日 ~ 4年3月31日		◎ 共済手帳の更新手続きを行ったときは、「共済手帳受払簿」(様式第29号)及び下記の「更新年月日手帳更新数」欄に記載して下さい。						
②共済契約者番号		92 - 9999		建設キャリアアップシステム事業者ID		12345678901234										
受入・払出 年月日	受入			払出			残高 (A)-(B)	払出欄の貼付の内訳		更新年月日 手帳更新数	備考					
	購入	元請から受入	計(A)	貼付	下請へ交付	計(B)		貼付人員	就労月							
前期(前頁)繰越	金融機関名	元請名	100	日分	日分	日分	日分	日分	人	3年3月分	(年 月 日) 冊					
3年4月1日	〇〇銀行		20	日分	120	120	0	6	3年3月分	(年 月 日) 冊						
3年5月3日	〇〇銀行		300	日分	420	100	200	5	3年4月分	(年 月 日) 冊						
3年6月5日	金融機関名	元請名 道路建設(株)	700	日分				4	3年5月分	(年 月 日) 冊						
3年7月5日	金融機関名	元請名		日分				4	3年6月分	(年 月 日) 冊						
3年8月3日	金融機関名	元請名		日分				4	3年7月分	(年 月 日) 冊						
3年9月5日	金融機関名	元請名		日分	1,120	60	820	3	3年8月分	(年 月 日) 冊						
3年10月2日	金融機関名	元請名		日分	1,120	60	880	3	3年9月分	(年 月 日) 冊						
3年10月12日	金融機関名	旧証紙交換	-240	日分	880		880	0	年 月分	(年 月 日) 冊						
3年10月12日	金融機関名	新証紙受入	233	日分	1,113		880	233	年 月分	(年 月 日) 冊		差額金 160円				
3年11月4日	金融機関名	元請名		日分	1,113	60	940	173	3	3年10月分	(年 月 日) 冊					
3年12月1日	金融機関名	元請名		日分						年 月分	3年12月5日 ( 3 ) 冊					
4年1月10日	金融機関名	元請名		日分						3	3年12月分	(年 月 日) 冊				
決算期間内の合計	頁計	407	頁計	700	累計	407	累計	700	⑧	頁計	93,000	累計	93,000	⑤決算期間内の手帳更新数の合計	3	差額金 合計 160円

令和3年10月12日 〇〇銀行で旧証紙交換  
310円証紙240日分 → 320円証紙233日  
残った旧証紙240日分を金融機関で交換したら、持ち込んだ枚数(日数)を購入欄にマイナス(-)計上して交換後の新証紙233日を再度購入欄で受け入れてください。

証紙交換を行った  
金融機関名

310円証紙から320円証紙への交換時に発生した差額金  
(金融機関へ支払った差額金)

$$((20+300-240) \times 310) + ((233+34+60) \times 320) = 129,440 \text{円}$$

現在、入力フォーム(Excel)で作成されている場合は、310円で計算式が入っています。手計算して算出した金額を直接入力してください。  
入力後は、計算式が削除されているため次年度は再度入力フォーム(Excel)をダウンロードしてご使用ください。  
なお、建退共本部で交換を行っている場合は、「旧証紙交換分」及び「新証紙受入分」の枚数は⑥合計の計算に入れなくてください。